

第193回 エフエム栃木放送番組審議会 議事録

1 開催年月日 平成25年11月7日(木) 11:00~12:00

2 開催場所 宇都宮グランドホテル

3 委員の出席 委員総数 7人
出席委員数 6人

(1) 出席委員の氏名 早川 富美子(委員長)
片山 貴之(副委員長)
青木 敬信
古磯 勝子
島田 恭子
長 茂男

(2) 欠席委員の氏名 片岡 真理

(3) 放送事業者側出席者 大森 敏秋(代表取締役社長)
佐藤 望(放送部長)
古寺 雄史(放送部課長)

4 議題 (1) 番組の試聴及び意見交換
(2) その他
(3) 次回開催日程について

5 議事の概要

(1) 番組の試聴及び意見交換

10月19日 土曜日の朝7時30分から放送した「なすしおばら greenFM」について、試聴と意見交換を行った。

事業者

ふるさと応援番組の一環として、9月から再度放送をスタートした「なすしおばら greenFM」。DJには、フリーの岡田真善、リポーターには那須塩原市の臨時職員でフランス人のアリスを起用。個性的な二人のトークで、新しい視点で那須塩原市の魅力を伝えている番組です。今回の放送では、秘湯の三斗小屋温泉を取材、紹介しました。

【 番 組 の 試 聴 】

委員：

土曜日の朝に聞くのにふさわしい、ゆったりとした癒やされる選曲や BGM が心地よかった。まるで、おしゃれな冊子を見ているようなイメージで、楽しく聴くことが出来た。

委員：

岡田さんの喋りには、おしゃれさを感じる。また、声の聞き心地もよい。

事業者：

朝の放送を意識して、出演中の夕方の放送とはイメージを変えて、話しているようだ。

委員：

リポーターのアリスさんは、親しみやすい人柄に感じた。また、フランス人ならではの視点で物事を観察しており、番組の重要なアクセントになっていた。また、岡田さんはアリスさんの話をうまく引きだそうと優しくサポートをされていて、とても好感が持てた。

委員：

既存のふるさと応援番組と違って、情報を詰め込み過ぎない作りがよかった。

事業者：

番組の再スタートにあたっては、以前より内容を絞り、那須塩原のイメージ作りにより重点を置くようなスタンスで番組を制作している。

委員：

各自治体提供番組が、同じようなイベント情報を横並びで伝えあうよりも、この番組のようにイメージアップに絞って、その雰囲気や上手に伝えることの方が、リスナーへの宣伝効果がより高いと思う。

委員：

ただ、秘境の温泉に辿り着くまでの道中の様子については説明が薄く、イメージすることが出来なかった。また、現地へのアクセス方法など基本的な情報について、もっと詳しく説明が必要だったのではないかと。

さらに、三斗小屋温泉に着いてからも、話を聞いたスタッフの方についての紹介がほとんどなく、その会話の音も聞き取りにくかった。

委員：

取材先へのアクセス方法や基本情報、アリスさんの紹介など番組で紹介しきれなかったことは、ホームページを積極的に活用して、より詳しく伝えてほしい。

(以上)

(2) その他
なし

(3) 次回開催日程について
次回の開催を12月5日(木)とすることについて、全出席委員の了解を得た。

6 答申または改善意見に対してとった措置および年月日
なし

7 答申または意見の概要を公表した場合、公表の方法および年月日
(1) 放送 11月24日(日)午後7時55分の「レディオベリーインフォメーション」内
(2) 書面 本社事務所に備え置き
(3) インターネット エフエム栃木ホームページ内

8 その他の参考事項
なし